



RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン
第2640地区ガバナー 辻 秀和



2014-2015年
海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第1827回例会 平成27年4月12日(日)

家族例会 姫路方面

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. お客様紹介 会員家族
4. 出席報告
会員総数 48名 出席者数 64名(会員 24名)
出席率 50.00% 前回修正出席率 70.08%

5. 会長スピーチ 会長 山東 剛一 君

みなさん、今日は。最近の悪天候がうそのように本日は好天に恵まれ楽しい家族例会のバスツアーになりました。

夢の井でゆっくり御食事をいただきながら歓談して交流を深め、親睦をはかっていただきましたと思います。この後、かまぼこ工場としては日本一ともいわれているヤマサかまぼこ工場を見学し—これは職業奉仕委員会の行事となりますが—そのあとはいよいよ姫路城観光となります。本日は、日曜でもあり、相当の混雑が予想され場合によっては中に入れられないかもしれません。



てください。親睦委員会のみなさんに大変お世話になっています。企画の段階から大変お骨折り下さったようで心から謝意を表したいと思います。では、今日一日ゆっくりくつろいで親睦を深めて頂くことを願って会員、ご家族のみなさまへのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

6. 幹事報告 幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山RC 4月21日(火) → 4月21日(火)
18:30～ ダイワロイネットホテル 夜間例会

○休会のお知らせ

和歌山東RC 4月30日(木) 5月7日(木)

**4月は雑誌月間です
(Magazine Month)**

7. 家族例会の様子



角谷親睦活動委員長



谷脇副会長



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ②好意と友情を深められるか
- ③みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山東 剛一 幹事：中西 秀文 SAA：山田 裕之

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : info@kainaneast-rc.jp



ヤマサ蒲鉾 見学



姫路城



8. 閉会点鐘



ニコニコ・BOX

田中 祥秀 君

19日(火)「ラフェスタ 2015」クラシックカーが温山荘に集まります。是非、見に来てください。



次回例会

第 1828 回例会 平成 27 年 4 月 20 日(日)
会員卓話 上野山 雅也 君

Rotary  ロータリージャパン

世界一周の航海でポリオ撲滅を支援

緩やかな風が吹き、静寂に満ちた太平洋。キム・スンジンさんの約 13 メートルの帆船「Arapani」号の脇をイルカたちが泳ぎます。こんな穏やかな生みを旅する日もあれば、南アフリカの最南端、ケープホーンを航海したときのように、7 メートルの波と強風に見舞われた日もあります。長年の経験を持つベテラン船乗りのキム・スンジンさん（韓国、ソクムン・ロータリークラブ）は昨年 10 月、約 4 万キロにもおよぶ世界一周航海の旅に出ました。その目的は、自分の夢を叶えることだけでなく、ロータリーのポリオ撲滅キャンペーンへの認識を高め、20 万ドル以上を集めることです。

8 カ月にもおよぶこのチャレンジは現在、半ばに差し掛かり、2 月初旬に、南太平洋のサウスジョージア島、サウスサンドウィッチ島を通り、南アフリカの喜望峰に到達しました。

「Sailing With Hope」（希望の航海）と名付けたこのチャレンジについてキムさんはこう話します。「より明るく、発展した未来のために、人びとに信念と希望を与えたいんです。ロータリーはポリオ撲滅活動を通じてまさにそれを行っています。私が世界一周の航海をするのは、この地球からポリオをなくす活動を支えたいからであり、世界中の人びとに撲滅が目前まで迫っていることを知らせたいのです」

キムさんの船「Arapani」号の帆には、End Polio Now のロゴが鮮やかにプリントされています。このロゴを目にした人がポリオ撲滅に関心を



示してくれるのではとキムさんは期待しています。チャレンジの成功は、ポリオ撲滅への認識をどれだけ高められたかにかかっていると話すキムさん。「(航海が終わったとき) より多くの人びとの関心を集められれば、ポリオ撲滅への寄付も自ずと増えるでしょう」

韓国にいる仲間のロータリアンと毎日衛星電話で連絡を取るキムさんですが、孤独感にさいなまれることもあると言います。「この旅で一番辛いことは、自分が広い海の真ん中でたった一人なのだと感じるときです。何とも言いようのない寂しさが襲ってきます」

5 月に韓国へ戻る予定となっており、その時までには、太平洋、大西洋、南極、インド洋を通過することとなります。一番楽しみにしているのは、家庭料理と家族とともに同じ屋根の下で眠ることと話すキムさんはすでに、世界一周航海を夢見る若い人たちと一緒に、もう一度このチャレンジを行おうと考えています。韓国の 18 地区が後援するキムさんの世界一周航海が始まった日、仲間のロータリアンが港に集まり、思い思いの詩や応援の言葉、写真などを持ち寄ってくれました。「仲間のサポートと励ましに本当に感謝しています。彼らこそ私のインスピレーションの源です」とキムさん。

キムさんのサポートチームの一員で、第 3620 地区ガバナーのチョ・サンヒャンさんは、地区内のロータリアンともども、キムさんの航海を見守っていると言います。「世界一周に挑戦しているキムさんを本当に誇りに感じています。彼のメッセージによって、もっとたくさんのロータリアンがポリオ撲滅活動に参加するようになるはずです。これはロータリーにとっても素晴らしいこと。人は、誰かの前向きで懸命な姿に心動かされるものです。キムさんのこの活動は、すでに多くの人の関心を集めています」